



# 福島県農林水産業振興計画に基づき令和5年度に実現すること

令和6年1月16日  
農林水産部

## 第3四半期（12月31日時点）取組状況

### 東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化

生産基盤の復旧や被災農林漁業者の支援、復興の加速化、風評の払拭

### 需要を創出する流通・販売戦略の実践

農林水産物の安全と信頼の確保、戦略的なブランディング、消費拡大と販路開拓

< 令和5年度の目標値 >

< 第3四半期時点 >

- 【高付加価値産地の拠点施設の整備 1か所】
- 【広葉樹林再生面積 250ha】
- 【ヒラメの種苗放流 130万尾】

- 【1か所】（整備中）
- 【192ha】（着手面積 77%）
- 【104万尾】（7/10～8/8放流）

- 【第三者認証GAP等を取得している経営体数 1,030経営体】
- 【新たに県産花きの利用を積極的に行う施設数 20施設】
- 【県産水産物の常設販売コーナー 15か所】

- 【755経営体】
- 【33施設】
- 【16か所】

### 多様な担い手の確保・育成

農林水産業の担い手の確保・育成、経営の安定・強化

### 戦略的な生産活動の展開

農林水産物の生産振興、産地の生産力・競争力の強化

- 【新規就農者数 260名】
- 【新規林業就業者数 140名】
- 【沿岸漁業新規就業者数 10名】

- 【367名】
- 【調査中】
- 【調査中】

- 【福、笑い作付面積・生産量 約77ha・380t】
- 【ゆうやけベリー作付面積 3ha】
- 【園芸生産拠点の育成数 4地区】
- 【AI肉質評価システムの活用 1,600頭】

- 【約77ha・約370t】
- 【3ha】
- 【5地区】（計画策定）
- 【1,031頭】

### 生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

農地集積・集約化の推進、農林水産業の生産基盤の整備、戦略的な品種・技術の開発

### 活力と魅力ある農山漁村の創生

農林水産業・農山漁村の多面的機能の維持・発揮、快適な農山漁村づくり、地域資源を活用した取組促進

- 【ほ場整備面積 400ha】
- 【試験研究の成果 35件公表】

- 【520ha（着工面積）】
- 【試験研究実施中】

- 【多面的機能支払事業による農地の保全管理 67,541ha】
- 【地域ぐるみでの総合的な鳥獣被害対策 14か所】
- 【治山事業 52か所】

- 【68,369ha】（実施中）
- 【14か所】
- 【49か所】（着工か所）

### 食料安全保障の強化（海外に依存している食料や生産資材への対応）

本県のポテンシャルを活かした供給量拡大・収益力向上による経営の安定化

- 【麦・大豆・そばの1ha以上の団地作付面積 3,905ha】
- 【飼料作付面積（畑地） 6,298ha】

- 【1,491ha】（麦：458ha、大豆：1,033ha、そば：調査中）
- 【6,208ha】